



# 横垣峠と水壺地蔵

平成19年7月、そして平成23年9月、大雨や台風によって大規模な地滑りが発生し、通行止めが実施され約11年ぶりの開通となった横垣峠道である。かつての神木流紋岩のきれいな石畳道は無残にも破壊されその一部を残すだけとなった。この峠道は、熊野街道を有馬で分かち、本宮道を進み御浜町神木を経由して、西ノ峰山(593m)の中腹を通る横垣峠にさしかかると一気に険しさが増す。ここからは、さしたる起伏もなく南へ進み阪本集落の折山神社に達する。

『熊野年代記』には、「人皇十代崇神天皇の六十五年、熊野有馬(花の窟)より音無郷に遷座、是本宮也」とあり、約二千年前、花の窟の御神体を熊野本宮大社に遷座したことが書かれている。その道が現在の本宮道である。『本宮記』には、約二千年前、有馬から神宝や神器を天ノ羽車に載せ、大勢の神部・天人・織姫が正月十日早朝に出発し、ほどなく出会った老婆が湯津爪櫛を差し出した。この土地名を今も熊野市久生屋(櫛屋)と呼んでいる。さらに進み村人が櫛をもって大神を迎えたところから、この地を神木という。

西ノ峰山を横断したところの坂ノ峠を境に折山と名が変わる。横垣峠道の見どころの一つに坂ノ峠から下る石

畳道がある。神木流紋岩がびっしりと敷き詰められた、かつての美しさが今十分に味わえないのは至極残念である。

横垣峠東側には、「水壺地蔵」があり「弘法の水」の言い伝えがある。そのそばの石灯籠に逸話が残る。大坂の大工・佐藤屋宗七は、職を求め旅するうちに、水壺地蔵にたどり着き心身の疲れから寝込んでしまった。夢枕に地蔵様が現れ「この峠を越えて、麓の集落に行く」と仕事が見つかる」と告げた。目覚めた宗七が麓の神木に行くと、お告げ通り仕事が見つかり舞い込み大変繁盛したというものである。水壺地蔵のおかげと宗七は地蔵を新しく建立し(現在も新旧二体の地蔵がある)、そばに石灯籠を建てた。灯籠の塔身に「嘉永三(1850)戌十二月 願主大阪屋宗七、世話人庄右衛門」と刻まれている。

尾呂志(現・御浜町上野)の富豪酒造家東勤兵衛殺軒が六名の従僕と、文化十四(1817)年伊勢路・東海道・江戸・日光・善光寺・木曾などとまわった記録がある。『関東筋名所喰ひ認り』には、~殺軒・小以六人。久生屋より大雨になり、大時化...とあり、尾呂志を發ち、横垣峠を越え神木から久生屋に達したことがわかる。当時の一般的な峠越えの道である。

参考文献:『伊勢人』第133号 横垣峠・水壺地蔵/芝崎格尚



## 八鬼山での出来事

八鬼山との出会いは、今から50年程前のこと、小学校の遠足で登ったのが最初であります。当時、遠足と言え、高学年の八鬼山は定番でありまして、低学年の頃、一緒に遊ぶ先輩達が得意そうに八鬼山の様子を話しているのを羨ましく聞きながら、遠く八鬼山へ思いを馳せたものであります。

やつと高学年になり、八鬼山頂上の大きな石に学友たちと競って登ることが出来ました。それで降度々登りましたが、その中で、今でも記憶に強く残っていることがあります。

それは、卒業を控えた中学生の頃、当時この地方に珍しく雪が降り、八鬼山は白く雪を抱いていました。学校も昼迄で終わったこともあり、悪友(笑)達と、八鬼山へ雪を見に行くぞと午後から登り始め、雪を感じながら、時には雪合戦をし、存分に楽しみました。

帰りは来た道を戻っても面白くないと反対側の道へ降りて行きました。着いた所は、堂の谷林道であり、そこから尾鷲方面へ帰るには、現在の県道778号線を歩かざるを得ない状況でした。しかも、周囲は少し薄暗くなつてきて、これから先はどれだけ距離があり、また何時間かかるかわかりません。多分両親には強く叱られるだろうとお互いに覚悟を決めひたすら歩きました。(芥川龍之介作の「トロッコ」の少年の気持ちもこうだったのだらうなと思いつつただ彼と違うのは、彼はひたすら走って随分と遅く村に帰ったのに比べ、我々には救いの神が現れたのです。作業を終えたトラックが止まってくれたのです。ゴラー、何にしー



熊野古道からのてがみ

47 通目



よんど、何処まで行くんど、大曾根と向井です。あほ、ここから、ただだけかかると思つとんど、早う後ろに乗れ。言葉は尾鷲弁で随分と荒つはひのですが、その顔には笑顔があり親しみが溢れていました。すぐに、後ろの荷台に乗り、自宅近くまで送ってもらいましたが、かなりの時間トラックに乗っていた気がしました。当然、家に着いた頃は真っ暗で、もし、トラックが通りかからなかったら、そして親切な人でなかったら、そう思うと、感謝の気持ちで一杯でした。

このことは、私たちが現在無くしつつある人の心の深さを感じさせずにはいられません。私も負けずに、社会に何かつても貢献出来ないうちと考へ続け、語り部や古道保全活動を始めた大きな要因の一つでもあります。

八鬼山との出会いは、今から50年程前のこと、小学校の遠足で登ったのが最初であります。当時、遠足と言え、高学年の八鬼山は定番でありまして、低学年の頃、一緒に遊ぶ先輩達が得意そうに八鬼山の様子を話しているのを羨ましく聞きながら、遠く八鬼山へ思いを馳せたものであります。

次は紀北町の東真人さん



東真人さん (尾鷲市)  
 熊野古道語り部友の会 会長  
 保全団体「八鬼山を愛する会」会長  
 三重県文化財保護指導委員  
 尾鷲市環境保全指導員

## 花尻 薫からの季節のたより No.47

ドクダミは毒痛みの意味で、庭や野山など日陰のところに多く生えます。花の開花は初夏の7月頃ですが、7月以外の月日は、日陰のじめじめとした場所に、群生せずに心臓形の葉をつけています。地下には白色の円柱形のやわらかい根茎があって、長くのび、盛んに枝分かれしてふえます。花びらのように白く4枚見えますのは、総苞片といって花びらではなく、花は総苞片の中央にあり、あわい黄色の小さな花をつけます。

分布は中国から東南アジアまでの熱帯アジアの薬草です。日本国内では各地の路傍や空き地など、湿ったと



ころに群生します。葉をもむと、独特の強い臭いがあり、この臭いのため「毒が入っている」という意味で「毒溜め」というのが名前の由来です。ドクダミは別名「じゅうやく」といって十葉と書き、十種類の効能があるといえます。

昔から生の葉を化膿性の「はれもの」や傷によってできる膿の吸出し用に用いてきました。

ドクダミには異名もあり、熊本県では「ヘクソカズラ」、香川県では「クサキ」、高知県では「ウマクワズ」といいます。

葉を薬草にする場合は、5~6月頃の開花期に根も含めた全草を採集して日干しにするそうです。これを十葉と呼んでいます。生の葉の場合は、膿や傷など必要に応じて採取します。

センター敷地内『夢古道おわせ』

お母ちゃんのランチバイキング  
 営業時間: 11:00~14:00  
 料金: 中学生以上.....1,200円  
 小学生以上.....700円  
 4歳~小学生.....300円  
 4歳未満.....無料  
 60歳以上.....1,000円

みえ尾鷲海洋深層水「夢古道の湯」  
 深海415メートルから取水された海洋深層水のお風呂。  
 ミネラル分が豊富で保温性に優れているので、湯上がり後もボカボカです。

開館時間: 10:00~21:00  
 入浴料: 一般.....600円  
 65歳以上.....500円  
 4歳~小学生.....300円  
 4歳未満.....無料

お風呂あがりは、カフェでゆったり♪  
 営業時間: 9:00~17:00  
 カフェオスター16-30

毎月26日は風呂の日 お子様は通常300円が100円でご入浴できます。

熊野古道センターからのてがみ

2018年 夏号

●発行日: 2018年6月10日(季刊)  
 ●編集・発行: 三重県立熊野古道センター  
 (三重県指定管理者 NPO法人熊野古道自然・歴史・文化ネットワーク)  
 ●編集担当: 玉村  
 ●連絡先: 〒519-3625 三重県尾鷲市向井12-4  
 TEL 0597-25-2666  
 FAX 0597-25-2667  
 Mail info@kumanokodocenter.com  
 ●開館時間: 午前9時~午後5時  
 ●入場料: 無料  
 ●休館日: 12月31日、1月1日(その他メンテナンス時休館)

熊野古道センター 検索

ホームページ  
<http://www.kumanokodocenter.com/>  
 60000180610AT

熊野古道 伊勢路 通行止め一部解除のお知らせ  
 熊野古道伊勢路「横垣峠道」の一部(水壺地蔵~横垣峠)は通行が解除となりました。

●詳しくは御浜町教育委員会 TEL.05979-3-0526までお問合せください。

熊野古道センターからのてがみ

2018年 夏号

●発行日: 2018年6月10日(季刊)  
 ●編集・発行: 三重県立熊野古道センター  
 (三重県指定管理者 NPO法人熊野古道自然・歴史・文化ネットワーク)  
 ●編集担当: 玉村  
 ●連絡先: 〒519-3625 三重県尾鷲市向井12-4  
 TEL 0597-25-2666  
 FAX 0597-25-2667  
 Mail info@kumanokodocenter.com  
 ●開館時間: 午前9時~午後5時  
 ●入場料: 無料  
 ●休館日: 12月31日、1月1日(その他メンテナンス時休館)

熊野古道センター 検索

ホームページ  
<http://www.kumanokodocenter.com/>  
 60000180610AT

熊野古道 伊勢路 通行止め一部解除のお知らせ  
 熊野古道伊勢路「横垣峠道」の一部(水壺地蔵~横垣峠)は通行が解除となりました。

●詳しくは御浜町教育委員会 TEL.05979-3-0526までお問合せください。

# Guide&Tips 芸術家が集う龍神村

和歌山県中央に位置する田辺市龍神村は、日本三大美人の湯、龍神温泉で有名ですが、人口減による過疎化の問題も抱えていました。1983年、行政、企業、美術家、芸大の教授らが関わり「芸術によって村を再生させる」という「龍神国際芸術村」構想を立ち上げました。その後の歩みの中で、県内外から多くの芸術家が移住し、個々が意欲的に活動することで他にはない魅力的な地域づくりに繋げている村でもあります。

## 旬の企画展 Event Info.

### 企画展 THE ART OF RYUJIN

～龍神村アーティスト展～

本企画展では、木工、絵画、染色、紙漉きなど、自然や文化にインスピレーションを受けた龍神村の作家たちを作品とともに紹介します。

会期:平成30年6月30日(土)～8月26日(日)  
時間:午前9時～午後5時  
入場料:無料  
場所:企画展示室



付属事業①  
オープニング  
ギャラリートーク

様々なアーティストが活動する龍神村。その歴史と現状について、龍神村に移住して30年間活動している山路紙漉作家 奥野誠氏にお話しいたします。

日時:平成30年6月30日(土)  
午前10時30分～11時30分  
午後1時～2時  
参加料:無料  
定員:30名程度(申込不要)  
対象:どなたでも  
場所:企画展示室  
講師:奥野誠氏(山路紙漉作家)

付属事業②  
新聞紙アート体験

新聞紙で  
立体的な  
鳥を作ろう!

新聞紙を使用して実物大の鳥(チドリ)を制作する体験学習です。制作した作品は会期中当センターにて展示します。

募集期間  
6/21(木)～7/14(土)  
日時:平成30年7月21日(土)  
午前の部:午前10時～12時  
午後の部:午後1時～3時  
参加料:500円(材料費含む)  
定員:午前15名・午後15名(要申込・応募多数の場合抽選)  
対象:小学生以上(小学生3年生以下は保護者同伴)  
場所:体験学習室  
講師:満端 秀章氏(絵本作家、造形作家)

### 企画展 清水重蔵写真展

無人「BUNAJIN-新潟-」

開館以来11年間、熊野古道写真学校の講師を務めていただいた写真家 清水重蔵氏の写真展です。清水氏が生まれ育った新潟で撮影した、深雪と樫が織りなす「鳥獣人物戯画」の世界をお楽しみ下さい。

会期:平成30年9月1日(土)～10月8日(月・祝)  
時間:午前9時～午後5時  
入場料:無料  
場所:企画展示室



### 特別展示室 企画展 ふるさと尾鷲 熊野古道 川西美智書作展

尾鷲市出身で日展入選九回の書家・川西美智氏の書道展を開催します。

会期:平成30年7月14日(土)～9月2日(日)  
時間:午前10時～午後5時  
入場料:無料  
場所:特別展示室



### 和歌山県 世界遺産センター からのお知らせ

山の緑が瑞々しい季節となりました。熊野古道へ国内外から多くの方がお見えになり、当センターもご利用いただいております。また、3月・4月・5月には下記のように多数の団体の皆様に道普請にご参加いただきました。

世界遺産は顕著な普遍的価値を持ち、「人類共通の宝物」といわれます。世界遺産を通して人々が交流し、文化や価値観の多様性を認識し合うことで、平和へつなげることも世界遺産の大切な役割の一つです。その世界遺産の一つ「紀伊山地の霊場と参詣道」の「良好な保全」及び「適切な活用」が円滑に進むよう当センターでは、世界遺産セミナーを開催しています。次回の第2回世界遺産セミナーでは、文学作品に描かれた熊野について講演を行う予定になっています。

●参詣道保全活動及び世界遺産セミナーに関するお問い合わせは、和歌山県世界遺産センター(0735-42-1044)までお願いいたします。



### 平成30年度 世界遺産セミナー(予定) 参加費 無料

7/1(日) 13:00～15:00  
演題:佐藤春夫の文学世界と熊野  
講師:新宮市立佐藤春夫記念館 館長 辻本 雄一氏  
場所:世界遺産熊野本宮館 (和歌山県田辺市本宮町本宮100-1)

### 「道普請」とは

文化財保護専門職員による指導のもと、参詣道の保全活動(土入れ・側溝清掃等)を行っていただくものです。ボランティア活動・CSR活動として、毎年、多くの皆さまに参加していただいております。

平成30年3月～5月の道普請参加団体(敬称略)

環境保全トレーニング(観音寺)、県立田辺高等学校、株式会社伊藤園、リコージャパン株式会社和歌山支社、西日本旅客鉄道(株)田辺エリア会、和歌山県職労連合、和歌山県世界遺産マスター全体研修会(熊野)、さわかみ一般財団法人、(株)セールスフォース・ドットコム、キャリエールホテル旅行専門学校、JTB熊野古道を歩く道普請のなかつまち、南海電気鉄道株式会社、ユニー株式会社、市川国際興業財団、KDDI株式会社、富士古河E&S株式会社、Faithグループ、(株)紀伊民報、三菱電機株式会社冷熱システム製作所

参詣道保全活動(道普請)及び世界遺産セミナーに関するお問い合わせは 和歌山県世界遺産センター TEL.0735-42-1044 までお願いいたします。住所:和歌山県田辺市本宮町本宮100-1 FAX:0735-42-1560 E-mail:e0624002@pref.wakayama.lg.jp

# 夏の思い出作り 体験教室

8/12(日) 10:00～12:00 13:00～15:00  
定員:なし(材料がなくなり次第終了)  
対象:どなたでも  
参加料:200円(全体験共通)  
講師:熊野古道センター職員

勾玉づくり体験  
削りやすい滑石を使用し、金ヤスリと紙やすりで勾玉の形に成形します。

よく飛び紙飛行機づくり体験  
色画用紙を定規で折り、制作した紙飛行機を芝生広場で飛ばします。

貝細工体験  
ヒノキ板に好きな貝殻を接着して飾りものを作ります。

万華鏡づくり体験  
紙筒とミラー工作紙、ビーズなどを使ってオリジナル万華鏡を作ります。

端材工作体験  
端材を木工用ボンドで接着して、オブジェやおもちゃを作ります。

木製キーホルダーづくり体験  
色々なヒノキ製の型を紙やすりで成形し、キーホルダーに仕上げます。

バードコール作り体験  
木を加工し、アイボルトを使ってバードコールを作ります。

竹笛づくり体験  
竹を加工して笛に仕上げます。

すべて事前申し込みは不要です。来館してすぐに体験できます!!  
※材料が無くなり次第終了となります。また、内容は都合により変更となる場合がございます。予めご了承ください。

夏休みの思い出に、また自由研究の手助けとしてものづくり体験教室を開催します。

### 交流イベント

初めてのクラシックコンサート in 熊野古道センター  
チケット・整理券は7/1(日)より熊野古道センターにて配布・販売します。  
日時:8.11[sat] 午後1時30分～午後3時00分(午後1時開場)  
入場料:小学生以下 無料 中学生～18歳以下 500円 19歳以上 1,000円  
定員:200名(要チケット・整理券)  
場所:交流棟 大ホール  
京都フィルハーモニー室内合奏団による、0歳から入場できるクラシックコンサートを開催します。夏休みに是非、ご家族でお楽しみ下さい。

### 体験教室 熊野古道自然学校

7/14(土) 小さな水族館 タイドプールで生き物観察  
タイドプールと呼ばれる岩礁海岸では、普段は水の中に見ることができない様々な生き物を観察することができます。黒潮の影響で水温が高く、生き物が豊富な熊野灘沿岸で海の生き物について学びます。  
時間:午前10時～正午  
参加料:500円(保険料、資料代含む) 雨天の場合は7/15(日)に延期  
定員:20名(要申込、応募多数の場合抽選)  
対象:小学生以上(小学生3年生以下は保護者同伴)  
場所:尾鷲市行野浦海岸  
講師:栗藤 和治氏(日本自然保護協会自然観察指導員)

### 講座・講演 野本 寛一 講演会

6/24(日) 人は生きものとうかがわって来たか～環境民俗学の視座から～  
近畿大学名誉教授の野本寛一さんをお招きし、この地方の身近な生き物と私たちの生活との関わりについてお話いただけます。講演会の後半には、野本名誉教授へのご質問も受け付けます。  
時間:午後1時30分～午後3時30分  
入場料:無料  
定員:80名(要申込、先着順)  
場所:映像ホール  
講師:野本 寛一氏(近畿大学名誉教授)

### おいしい出汁から作る 基本の和食

相模高校の村林新吾先生による料理教室です。今回は、高校生の方も気軽に参加できる、だしの取り方などの和食の基本を学びます。  
時間:午前10時～午後1時  
参加料:一般 2,000円、高校生以下 1,200円  
定員:24名(要申込、応募多数の場合抽選)  
場所:体験学習室  
講師:村林 新吾氏(相模高校食物調理科教師)、相模高校生徒(調理クラブ)

### 8/12(日) 連続講座 今比丘尼が 絵解く曼荼羅図

曼荼羅を携え布教と勧進のため全国を行脚した熊野比丘尼。本講座では「熊野観心十界図」「那智参詣曼荼羅図」の絵解きを実演します。偶数月に開催しています。  
時間:午前11時～12時、午後1時～2時  
入場料:無料  
定員:30名程度(事前申込不要)  
場所:展示棟ロビー  
熊野比丘尼 絵解き

### 事前申込不要! わくわく 日曜ものづくり体験教室

東紀州で活躍中の木工職人や工芸家を講師に、毎週日曜日に開催している体験教室です。事前申込不要で、小さなお子様から大人まで気軽に楽しんで頂けます。  
時間:午後1時～3時受付  
参加料:100円(※体験によって異なります)  
場所:交流棟ロビー  
講師:大形弥生氏、村川 実氏、竹内 健悟氏、中井 智章氏、吉田 誠人氏、熊野古道センター職員